

# 日中学院天津外国語大学短期留学

別科天津外国語大学への短期留学は今年で3年目を迎えました。今年は9名の同学と引率の胡先生との1週間の留学となりました。

別科3年目の宮崎です。この9月21日から28日まで、学院主催の天津外国語大学短期留学に参加してきました。概要をご報告して皆さんのご参考に供したいと思います。

## 1. 天津と天津外国語大学

天津市が国家直轄の大都市であるということだけは知っていましたが、今度訪問するまで、どんな町かよくイメージがつかめないうちでした。

天津は、①清朝までに形成された製塩業の中心地・華北の一大物資集散地・首都北京の軍事的前線基地、という顔と、②阿片戦争後西洋列強に開港を迫られ、広大な租界地を提供させられた結果、西洋の文物流入の窓口、ひいては西洋諸思想の流入の窓口となって発展してきた顔の両面を持つ大都会であるといわれますが、滞在するうちにも、いくらかそれが体感されるようになりました。市中心部の北半分は①のまちなみで、古文化街など清朝の面影を残す雑踏の繁華街があります。一方市中心部の南半分は旧租界地区で、近年美しく整備され、緑濃い高級住宅地区・文化体育地区等として市民の憩いの街区になりつつあります。

天津外国語大学は、旧イギリス租界にあり、東西に走る馬場道と紹興路に挟まれたかなり広大なキャンパスに、教授棟・事務棟・図書館・体育館・宿舍棟などが立ち並んでいます。それぞれ赤茶色の煉瓦で外装した比較的新しい立派な建物で、1万人余の学生の大部分が学内で昼夜生活しているため、宿舍棟がたくさんあり、サービス事務棟にも3つの大食堂を始めいろいろな店が入っていました。登下校時及び休憩時には、キャンパス内を、碧眼金髪の外国人を含め大勢の学生が行き交います。中国人の学生がむろん大部分ですが、日本の同年配の学生に比べ、みな飾らない格好をし、本当に勉強するために大学に来ている！という雰囲気なのが印象的で、清々しい感じがしました。

## 2. われわれ短期留学生の生活環境

今年の短期留学に参加した学生は計9人と過去2年に比べ小人数で、クラスも1クラス編成となりました。内訳は女7人男2人、年齢的には若手の社会人が3人で後は大体退職者、という感じです。私は初参加でしたが、同学には2回目の人が2人、3回目の人が2人いました。

キャンパスの中の「国際交流中心」というビルディングの5階にそれぞれ二人部屋を1室ずつあてがわれ、毎日そこから歩いて5分余りの教授棟に通うという生活でした。中国人の学生は男は8人部屋、女は6人部屋で、勉強は図書館が授業後の教室でやらざるを得ないと言っていましたので、それに比べるとずいぶん贅沢な待遇だったといえます。

食事は特に学外へ出かけるイベント等がない限り、三餐をお隣のサービス事務棟内にある食堂で食べました。もっとも、学内のセブンイレブンで饅頭と飲み物を買ってそれで朝食を済ます人も結構いました。最初は注文の仕方もわからず、引率の胡老師のうしろにくっついて幼稚園児のように先生のお世話になっていましたが、半ばくらいにはプリペ

学好中国话，为日中友好起桥梁作用！

# 日中学院報

2018年12月

毎月1回1日発行 第525号

編集発行人・片寄浩紀

定価1部100円/1年1000円(送共)  
郵便振替 東京 00100-38184

〒112-0004 東京都文京区後楽1-5-3

TEL 03-3814-3591 FAX 03-3814-3590

URL <https://www.rizhong.org/>

E-mail [info@rizhong.org](mailto:info@rizhong.org)



10月29日  
日本語科10月生2期入学式

## A 先生の新語コーナー



luòcí  
“裸辞”

次の転職先も決めずに突然会社を辞めることを指す。中国では仕事のプレッシャーで疲れ果て、または働き甲斐を感じられず、「裸辞」を選択するホワイトカラーが増えている。中国青年報が今年夏、18〜35歳の会社員1972人を対象にアンケート調査を実施したところ、その約23%が「裸辞」の体験者であることがわかった。また、実際には踏み切らなかつたものの、考えたことがあると回答した人は半数近くに上る。給与や福利厚生への不満が主な動機。

(A)

イドカードも全員分が揃い、みな大体一人で行って好きなものを注文して食べられるようになりました。メニューは、……これを詳しく話し出すと紙数を確実に超過するので割愛しますが、とにかく種類豊富で安い！北京空港の両替所で1元18.9円のレートでしたが、5～10円で一応のものが食べられました。

お風呂はシャワーのみでしたが、タオル等の取り替えやベッドメイクも2日置きにしてもらえました。

授業と文化活動以外の時間は原則自由なので、初めこそ幼稚園児をやっていましたが、そのうち慣れてきて、誘い合わせて、場合によっては一人で、キャンパスを抜け出して散歩したり街の小売店で月餅や果物を買ってみたりできるようになりました。早朝、歩いて15分ほどのところにある風情十分の人民公園に通って、太極拳や地上書道を楽しんでいる地元の年配者と会話を試みた同学もいましたし、夜、大学裏門の錆びた野天回転ドアを押して、コンビニに買い物に行くなどするときは、もういっぴしの天津住民になった気分がわくわくしました。

### 3. 課業内容等

毎日の課業等は以下のような進行でした。

- (1) 授業は毎日、土曜も日曜もなく、午前8時から午前11時40分まで、20分の休憩を挟んで100分授業2コマです。教授棟7階の立派な教室で、黒板も電子黒板。先生は劉建穎老師、25歳の女性の先生でした。天津外国語大学で中国語教育を専攻する大学院生とのことでしたが、授業を受けていると段々一種の貫禄に圧倒されてきて、「老師」という私たちの呼びかけも心からのものになっていました。配られた教科書は比較的やさしい内容のものでしたが、それを全部漢語で、いろいろな角度から授業材料にし、根気よく相互方向的な授業に持って行く進め方には、教わっていながら感心させられたし、個人的にも新たに学んだことは少なくありませんでした。劉先生には、改めてお礼を申し上げます。
- (2) 午後は、2時から4時ないし5時まで、各種の文化活動が組まれました。中国茶道、書道といった室内活動のほか、市内見学(イタリア風景街と古文化街)、天津博物館見学、天津市の中央を流れる海河の夜景クルーズといった多彩なものでした。

- (3) 帰国の2日前の夕食後、国際交流棟内で日本語科の中国人学生たちとの交流会がありました。4卓に分かれ、私の卓は日本側2人、中国側5人でした。蓋を開けてみたら先方は1年生ばかりで、この大学では9月入学なのでまだほとんど日本語がしゃべれない若一子たちでしたが、中国語で意思疎通するしかなくなった私たちにとってはそれが却ってよいレッスンの機会になりました。日本アニメ、日本文学、旅行の話題、大学生活の様子。各卓とも盛り上がって、あっという間に2時間近く経っていました。帰国後、聞いて帰ったメールアドレスにお礼のEメールを出したら、全員から心のこもった返事をもらいました。これは大事にして、向こうがやめない限り、文通を続けたいと思っています。

### 4. 結語 中国及び中国語との貴重な「生の」接触の機会

以上ご報告したように、短い日程でしたがぎっしり内容が詰まっている「短期留学」で、想像以上に濃厚で楽しい一日一日でした。一緒に参加した同学も口を揃えてそう言っています。

私たちはそれぞれ日中学院で中国語を学んでおり、魅力的な中国人の老師も多いのですが、中国に滞在して現地にいる中国人と直接話すという機会に匹敵する環境には、なかなか巡り会えないものです。

このたびの「短期留学」では、日本語を取って一言も使わないネイティブの先生の中国語授業を始めとして、交流会での会話、戸外での文化活動に付き添って下さったボランティアの大学生たち・食堂の人・隣り合わせた中国人学生・街の人・人民公園のおじいさんたち e t c。との対話、自由時間を利用しての、既知の中国友人との個別のデート等々、行く前は正直なところ日本人ばかりで1週間行ってもどれほどの体験ができるのかと半信半疑だったのですが、中国語と、天津にどっぷりつかった8日間でした。

まだ参加したことがない人は、来年のこの機会をお見逃しなきよう、お薦めしたいと思います。最後に、髪の毛の薄くなりかけた幼稚園児の私たちを、連日保護・介護して下さいだった胡老師に、心から感謝申し上げます。(宮崎礼壺)

## 留学生川柳（日本語科2年1組）

日本語科2年1組では授業中に川柳を作りました。学院の入口にて留学生の書いた川柳を皆さんに投票してもらったところ、以下の作品が大賞、優秀賞に選ばれました。

### ○大賞（総得票数27） 作者：孫峰毅

ダイエット 増える食欲 減る意欲

### ○優秀賞（総得票数19） 作者：孫峰毅

日本人 毎日言うね 「すみません」



選ばれた作品は、どちらも孫峰毅さんのものでした。

#### 孫峰毅さんからの授賞コメント：

日本に来てから、1年以上がたちました。でも、日本語はまだ上手になっていません。今までの人生で、初めて賞をとって、非常に緊張しています。自分の人生を激励してくれたと思っています。努力していれば、必ず報われることを信じています。今後もやる気を持って、努力していきます。ありがとうございます。



## 図書室 だより

### 今月の新着DVDより

今月は最近配架しましたDVDからドラマを1本ご紹介いたします。

★《我的前半生》ドラマ全42集DVD

★《我的前半生》原作

亦舒 著 湖南文艺出版社

主演：马伊琍 靳东 袁泉 陈道明(友情出演)

監督：沈严



(あらすじ)

33歳の羅子君は専業主婦。夫は大企業勤務で、高級マンションに住み、子供の世話や家事はお手伝いさんがやり、買い物やランチにお金を費やす毎日。ある日、夫から、「実は愛人がいる。」と離婚を切り出される。この時を境に羅子君の人生は一変してしまう。

このドラマは30代の主人公達の生き方を中心に仕事、恋愛、親子問題など主人公が抱える悩みやその生き方を描いて、2017年ヒットしたドラマとなりました。また主人公達がたびたび訪れる日本風居酒屋の店主を中国の名優陳道明が演じています。

香港の人気作家亦舒の小説をドラマ化。原作も図書室にありますので、あわせてどうぞ。

#### 追悼 金庸さん

10月30日、武侠小说を代表する作家の金庸さんが94歳でお亡くなりになりました。

金庸さんは、香港の新聞記者であった1955年に最初

の小説「書劍恩仇録」が新聞に連載され、その後連載された小説も次々ヒット。小説15作を執筆後1972年に断筆宣言。その後自らが設立した出版社（明報出版社）の経営に専念。その後は小説を新たに書くことはありませんでした。金庸さんの小説はその高い文学性と惹き込まれるようなストーリー展開で、中国の読書人を魅了し、その作品は今でも中華圏の人々に愛読されており、何度もドラマ化されています。謹んで哀悼の意を表したいと思います。

図書室では、金庸さんの小説全作15作品の原著を所蔵しております。ご興味のある方はぜひ原著にチャレンジしてください。

#### ◎金庸さん小説15作品（原著のみ）

- ★《书劍恩仇録》★《碧血劍》
- ★《射雕英雄傳》★《雪山飛狐》
- ★《神鵰俠侶》★《飛狐外傳》
- ★《白馬嘯西風》★《倚天屠龍記》
- ★《鴛鴦刀》★《連城訣》★《天龍八部》★《俠客行》
- ★《笑傲江湖》★《鹿鼎記》★《越女劍》

#### ◎小説以外（図書室所蔵分）

★《三劍樓隨筆》 金庸・梁羽生・百劍堂主 著  
学林出版社

1956年10月から1957年1月まで香港の新聞《大公報》に連載された三人の若き武侠小説家、金庸、梁羽生、百劍堂主によるリレーエッセイ集。70余編のエッセイを収録。

#### ◎日本語訳本（図書室所蔵分）

和訳で読みたい方はこちらをどうぞ！

★『書劍恩仇録』第1巻～第4巻

岡崎由美 訳 徳間書店

星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
						<b>1</b> ●別科公開講座 13:00～(入門)
<b>2</b> ●本科1次入試 ●別科一日集中講座 ●日本語能力試験	<b>3</b>	<b>4</b> ●本科1次 合格発表	<b>5</b> ●本科2次 受付開始	<b>6</b>	<b>7</b> ●別科公開講座 18:45～(入門)	<b>8</b>
<b>9</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>14</b> ●本科定期試験 (～20日)	<b>15</b> ●別科公開講座 13:00～ (入門・基礎)
<b>16</b>	<b>17</b>	<b>18</b>	<b>19</b>	<b>20</b>	<b>21</b> ●本科・日本語科 冬休み(～9日)	<b>22</b> ●別科(271期) 授業最終日
<b>23/30</b>	<b>24/31</b> ●24…祝日 ●31…閉門期間	<b>25</b> ●仕事納め ●図書室閉室 (～1/6)	<b>26</b> ●冬休み閉門 (～1/6)	<b>27</b>	<b>28</b>	<b>29</b>
●1月の日中学院 ・7日…別科272期授業開始 ・8日…別科公開講座18:45～(入門、基礎) ・10日…本科、日本語科授業再開 ・17日…日本語科2年 国会見学		・15日…中国語検定試験受付開始 ・18日…本科2次入試受付締切 ・20日…本科2次入試 ・21日…本科追試(～25) ・22日…本科2次入試合格発表		・26日…本科生のための公開講座(9:30～) 図書室開館時間(別科学期間休みは異なります) 月～金 12:00～18:45 / 土 12:00～18:00 ※12/25～1/6…閉室期間		

## ○特別講座のご案内

春の検定試験に向けて、対策講座を開講します。HSK、中国語検定試験の受験をお考えの方は、是非ご検討ください。

### ・中国語検定2級対策講座

1/12(土)から全8回

土曜日: 10:00～12:00

担当: 戴暁旬

受講料: 29,600円(入学金不要)

### ・HSK対策講座(A)、(B)

1/12(土)から(A)、(B)各10回

(A) 土曜日16:00～18:00 担当: 金鮮榮

(B) 土曜日18:45～20:45 担当: 長澤/山本

授業料: (A)、(B)各37,100円(入学金別途)

※(A)、(B)両講座を通して受講することをお勧めしますが、別々に受講することも出来ます。

(訂正) 2018年11月号において、P1の倉石賞の記事中で誤植がありました。

本文中28行目

(誤) 尽力された建内実先生

(正) 尽力された竹内実先生

です。謹んでお詫び申し上げます。

## 学院長の思い出話6

### 「語録」ではなく「選集」を読み

深圳はさわやかな空気につつまれ、ラジオからは革命の歌が流れ、広州行きの列車からはのどかな農村風景が見えました。広州のホテルは珠江沿いの「広州賓館」で、交易会会場の目の前にありました。

4月25日に全市で爆竹が鳴り響き、通りには銅鑼や太鼓を打ち鳴らすトラックが練り出し、お祭り気分。中国初の実験衛星「東方紅1号」打ち上げ成功を祝う慶祝活動でした。

今や有人衛星を打ち上げるまでに発展した宇宙工業が産声をあげた瞬間に遭遇しました。

文化大革命が始まって3年目の中国。交易会の対外貿易商談でも毛沢東語録の読み上げから始まるという厳しい雰囲気でした。私は日中技術交流を担当。中国側の窓口の責任者黄坤益先生(後に国家知識産権局局長に就任)は、若造の私にも温厚な対応をしてくださり、仕事の話し以外に「中国と長く付き合うのなら、語録ではなく選集を読みなさい」などとアドバイスしてくれました。仕事でふれあった最初の中国人が黄坤益先生という知識人であったことが、その後半世紀も中国一筋で過ごしてきた私の人生行路を決めた要因の1つになりました。(片寄浩紀)